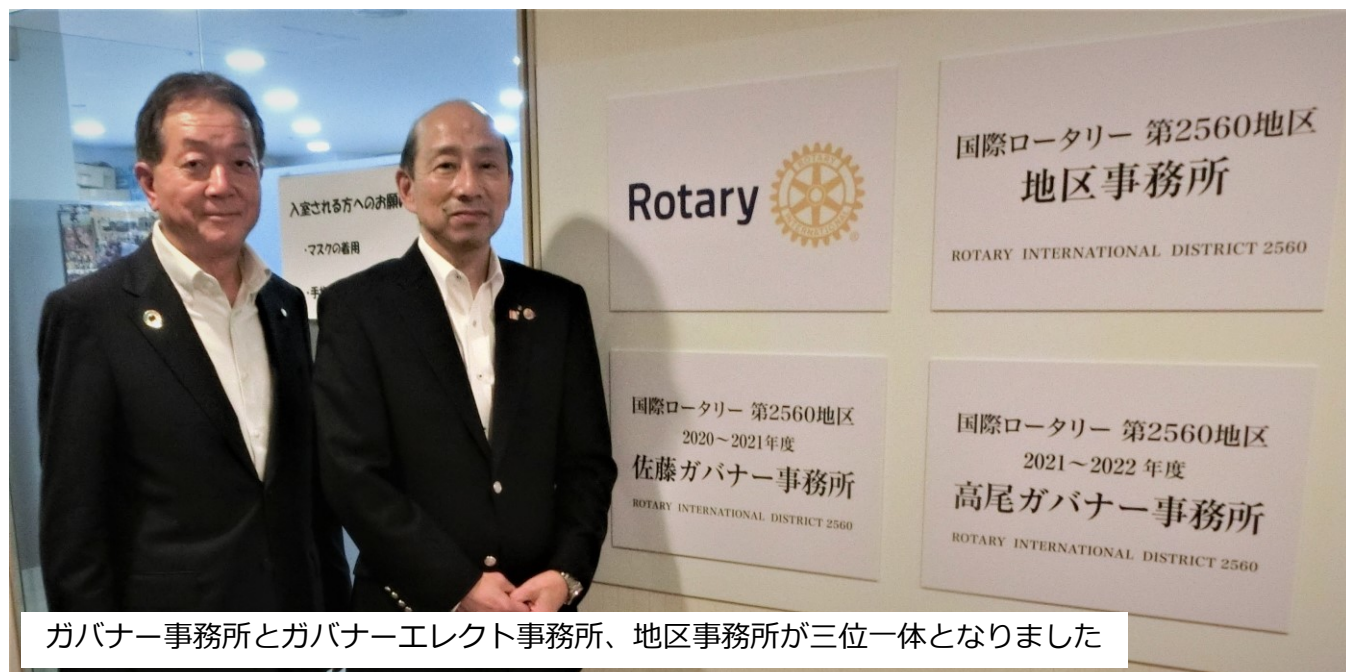


ガバナー一月信 vol.05



第6回 ガバナー補佐会議にて



ロータリーで良いことをしよう



■ ガバナーメッセージ	1
■ 第6分区 I Mを終えて	2
■ 第2分区 I M開催報告	3
■ 新井RC名称変更について	5
■ 地区大会記念ゴルフ大会の報告	7
■ 新入会員紹介・計報	8
■ 会員数及び出席	9
■ コーディネーターNEWS	10-11
■ ハイライトよねやま	12-13



感謝申し上げます

国際ロータリー第2560地区

2020-21年度

ガバナー 佐藤 真（村上岩船）

地区大会記念ゴルフ大会が394名もの参加をいただき開催できたことに深く感謝申し上げます。COVID-19の感染影響により、各種行事が開催方法の変更や規模の縮小を強いられるなか、多くの方々と共に楽しませていただき感無量です。10月5日の初日はあいにくの雨で第一分区の皆さんにはご不便をおかけしましたが、二日目の6日は曇りのち晴れのゴルフ日和で皆さんにお楽しみいただけたことと思います。参加していただいたロータリアン、ご尽力いただいた実行委員会、ご協力いただいた全ての皆さんに感謝申し上げます。

地区の最重要課題であった、2022-23年度ガバナーが決まり安堵しています。山本和則ガバナー指名委員長、宇尾野隆ガバナー補佐、第二分区会長・幹事、新潟ロータリークラブの皆さん、そして何よりご英断いただいた高橋秀樹ガバナーノミニーに心から感謝申し上げます。COVID-19禍で思うように活動ができない現状ではありますが、これからの地区運営にご尽力いただければ幸いです。

会員各位には、ガバナー選出輪番制の順番が違うのではと思われる方もいらっしゃると思いますが、田中年度で決定し、川瀬年度で運用を含め再決議されたのは、「第二分区のみ2020-21年度を起点とした、8年間の間に2回輩出することとし、他の分区は前記の8年間の間に1回ずつ輩出すること、その後も同様とする。」という内容です。もちろんガバナー選出はクラブからの推薦が基本であり、これを妨げる事なく優先いたしますが、現実的に困難な場合、当地区独自の“知恵”として輪番制とその順番を申し合わせた訳です。今回申し合わせた順番が変更になりましたが輪番制に反したものではなく、あくまでも会長会決定に則った対応であることにご理解をいただきたいと思います。今後についても、各分区の皆さんと対話をしながらガバナー選出についてご協力を得ていきたいと考えています。

ガバナーになって強く感じるのですが、納得した良い活動のためには、ノミニー期間が1年必要です。地区という組織を理解し構成、活動を考慮し予算を編成、そして皆さんの理解と協力を得るには相当の時間を要します。私は、当地区の歴代でノミニー期間が最も短かく、かつ国内で最後に選出されたガバナーなので想いもひとしおなのかもしれません。これからも皆さんと一緒に是非々々を以て、機会の扉を開き良いことをしていく所存でありますのでご理解とご協力をお願いいたします。



第6分区IMを終えて

国際ロータリー第2560地区
2020-21年度第6分区ガバナー補佐
高橋 主計（津南）

9月27日（日）津南町のニュー・グリーンピア津南にてIMを開催しました。



COVID-19が未だ終息していない中ですので、参加人数を各クラブの40%にさせていただき76名で行いました。講演やアトラクションも中止でパストガバナーもお呼びしないで、来賓は津南の桑原悠町長様のみで6分区内だけの参加でした。

桑原町長様に津南RCの活動を知ってもらうには、良い機会だったと思います。

受付時に全員にフェイスシールドをお配りして、会話をする際は、マスクより聞き取りやすいという判断であります。メインのフォーラムは、「各クラブの状況・今回の非常事態発生から今迄の対処と今後の運営」という事で、5項目について各クラブ会長6名の方が登壇していただき、1時間の話し合いが行われました。各クラブ共通の問題として、「会員の増強は現状では難しい。」「今の会員維持も心配な事がある。」等の意見がでました。

そして、ガバナー選出については、少人数のクラブでは大変で退会者が出るのではないか等、消極的な意見が出ました。

親睦を深める懇親会は、1テーブル5名で飲み放題プランにないアルコールも会場での配慮で出ました。参加費は8,000円でしたが、参加者は余り席を動かず、各テーブルごとに会話が弾み、あっという間に終了となりました。

パストガバナー佐々木様には、会員で参加という事になり、大変失礼と思いましたがさすが、パストガバナーでした。

参加者全員にありがとうございました。



第2分区IM開催報告

国際ロータリー第2560地区
2020-21年度第2分区ガバナー補佐
宇尾野 隆（新潟）

10月3日（土）に新潟市のホテルイタリア軒にて第2分区のIMを開催いたしました。

今年は、COVID-19の感染防止を考慮し各クラブ6名程度の参加者に限定させていただき、48名のご参加をいただきました。また、会場以外からも佐渡RC前田朋信会長、地区RLI推進委員会の皆様にもzoomを通して参加をいただきました。



先ず初めに、ホストクラブである新潟RC高橋秀松会長よりご挨拶があり、新保清久PG・地区RLI推進委員長のご挨拶・講師紹介の後、RLI日本支部中村靖治ファシリテーター委員長（第2770地区PG・吉川RC）より「ロータリーの誇り～RLIに参加してロータリーを語ろう～」というテーマでご講演をいただきました。その後、新潟市内7RCの幹事・副幹事の皆さんが研修者となり大澤力（新潟西RC）ディスカッションリーダーのもと「倫理と職業奉仕」というテーマで模擬研修を実施いたしました。

RLI＝ロータリーいくつー・リーダーシップ研究会は世界400以上の地区が実施している他地区合同プログラムで、かのキーワードをもとにロータリーを語り合いながら学ぶことで、ロータリアンの自己啓発を促しクラブの活性化を目指そうというものです。当地区もその導入準備を進めているところです。

模擬研修の終わりには、渡辺敏彦PG、山本和則PG、高尾茂典GEからコメントをいただき終了しました。その後、高尾茂典GEより中村講師に謝辞が行われ、次年度ホストクラブ・新潟東RCの水本直弥会長エレクトよりご挨拶をいただき、ガバナー補佐である私の方から参加された皆様への御礼と片山政博次年度ガバナー補佐のご紹介をさせていただき閉会となりました。

今回は、現在の状況を考え懇親会は行いませんでしたが「RLI」に対して各クラブの皆様に理解を深めていただく機会になったと思います。各クラブの会長・幹事の皆様はじめ開催にご協力いただいたすべての皆様に御礼を申し上げまして、ご報告とさせていただきます。





60年の歴史(新井)と新しい風(妙高)と共に

国際ロータリー第2560地区
新井妙高ロータリークラブ
2020-21年度 会長 乗木 邦友

樹木に新芽が生え桜咲き心地よい風が共に緑深くなる春、とめどなく湧き流れる水源と降り注ぐ太陽の下でぐんぐんと植物が育つ夏、田んぼが金色となり木々が紅葉し色鮮やかになる秋、深々と雪が降り大地と山々が白く輝く冬。

この素晴らしい四季を体感できる我々の活動地域であります妙高地域は、15年前の旧新井市、旧妙高高原町、旧妙高村の合併により妙高市として誕生し、西に妙高山・火打山・焼山・大毛無山を中心とした山々、東に斑尾山から1,000m級の山々が続く関田山脈の山々に囲まれ、その山々から湧出する清らかな水と肥沃な土を持つ扇状地が優良な農地を作っています。

この誇れる資源の下、新井ロータリークラブは、1959年9月19日にRI加盟承認を受け翌1970年6月5日に高田ロータリークラブをスポンサークラブとして27名で発足しました。以降60年、チャーターメンバーから続く先輩諸氏が、ロータリーの第一の目的でもあります親睦と奉仕の下に集い活動を推進して参りました。それは学校、養護老人ホーム等施設への植樹と本・楽器等の寄贈、幹線道路、道の駅、公園、公共施設での立哨とクリーン活動等の社会奉仕活動。四つのテストを中心に地域、職業で活躍されている方達からお話(例会卓話)を頂き学びを共有した職業奉仕活動。新井ローターアクトクラブを提唱し共に歩み活動してきた青少年奉仕活動。研究交換、交換留学生、世界の留学生との事業、交流会等を実施してきた国際交流活動。歴代メンバーとその家族で積み重ねられた交流と親睦の歴史であります。

そして2020年9月19日、新井ロータリークラブは新井妙高ロータリークラブに名称変更いたしました。この60年の新井の歴史に妙高がプラスされました。妙高の素晴らしい四季と資源の中に新しい風が吹きます！この風は沢山の活動を生み出します！素晴らしい人との出会いを作ります！時代の変化の波に乗りもっともっと魅力ある笑顔溢れる新井妙高ロータリークラブへ！新井妙高ロータリークラブメンバー一同邁進してまいります。つきましては、2560地区各ロータリークラブの皆様には、これからも変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。





地区大会記念ゴルフ大会の報告

国際ロータリー第2560地区

2020-21年度地区大会記念ゴルフ大会

実行委員長 時田 政義（中条RC）

掲題に関しまして、去る10月5日と6日の両日に亘り、胎内市の日本海カントリークラブにて参加登録411名、内競技参加394名、団体戦参加36RCの皆様方のご協力を賜り、盛大に開催させて頂きました。

今回の地区大会記念ゴルフ大会は、今年に入りCOVID-19の感染拡大から緊急事態宣言の発出など一時は開催そのものを懸念したことも御座いましたが、政府ならびに地方自治体挙げての諸対策が功を奏し、更にご参加の皆様にはCOVID-19三密対策（マスク着用、手洗淨、集合写真省略など）へのご理解とご協力を頂きまして無事開催することが出来ました。

改めまして衷心より厚く御礼申し上げます。

また、不慣れから何かとご不便をお掛けしたことが多々あったと存じますが、何卒ご容赦頂きたくお願い申し上げます。

そして、大会の一つのイベントでありますチャリティ品寄贈につきましては、胎内市社会福祉協議会の希望もあり、ワンタッチテント1張りを10月14日佐藤真ガバナーより寄贈させて頂きました。

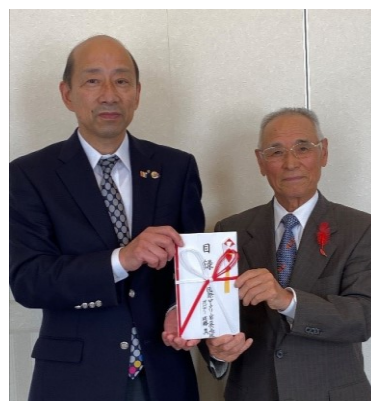
尚、同社会福祉協議会会長からは御礼に加えて「どうぞ皆様へ宜しくお伝え頂きたく」とのお話が御座いましたのでご報告申し上げます。

結びに、今回の大会にご協力頂きました日本海CCの皆様ならびにホストクラブ（中条、中条胎内）の皆様へ実行委員会を代表して厚く御礼申し上げます。

以上



日本海カントリークラブにて



10月14日のチャリティ品贈呈式

地区主要行事予定11月-12月

2020年10月20日現在

年 月 日			行 事	会 場
2020年 (R2) 佐藤年度	11月	経済と地域社会の発展月間・米山月間		
		7 (土)	高田さくらロータリー衛星クラブ発足記念式典	百年料亭 宇喜世
		14 (土)	三条ローターアクトクラブ50周年記念式典 →来年4月or5月に延期	
		22 (日)	2021-22年度長期派遣学生選考試験 →延期	タビスパル新潟
		24 (火)	ロータリー100周年記念式典 →来年5月へ延期	
		24 (火)	ロータリー財団地域セミナー	オンライン会議
		25 (水)	第49回ロータリー研究会／クナークRI会長と語ろう	オンライン会議
		26 (木)	第2回ガバナー会議	オンライン会議
		26 (木)	第2回ガバナーノミニ研修セミナー (GNTS)	オンライン会議
		27 (金)	第2回ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)	オンライン会議
		28 (土)	米山記念奨学生学友会総会・面接官オリエンテーション	オンライン会議
	12月	ロータリー財団月間		
		5 (土)	ロータリー財団地区奨学生募集説明会 →中止	万代シルバーホテル
		12 (土)	高尾年度激励会・地区諮問委員会・地区運営会議	ANAクラウンプラザホテル
		20 (日)	ROTEX会議・第1回派遣学生オリエンテーション・クリスマスパーティー →中止	ホテルオークラ新潟
		20 (日)	I A 献血キャンペーン 青少年交換学生スキー国際交流研修 →中止	新潟市 妙高杉ノ原スキー場

新入会員紹介 (敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
新井妙高	立花 輝雄	2020.9.30	日本曹達(株) 二本木工場	執行役員 工場長	薬品製造
加茂	鶴巻 恵一郎	2020.10.01	(株) ツルマキ工業	代表取締役社長	電子部品製造
吉田	金子 龍一郎	2020.10.01	(株) ミネラル創和	代表取締役	ミネラル水販売業
吉田	信田 俊一	2020.10.01	(株) 百萬粒	代表取締役	米穀卸売業
高田	星 則雄	2020.10.02	(株) NST新潟総合テレビ	上越支社長	テレビジョン放送
村上	二ノ瀬 豊	2020.10.08	東北電力(株) 村上電力センター	所長	電力供給業
新発田	若松 義人	2020.10.12	東北電力(株) 新発田営業所	営業所長	電力供給

訃報 (敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
新井妙高	松村 雄司	2020.9.21	(株) 松村建材	代表取締役社長	建設材料販売	

第2560地区 2020-21年度9月末 会員数およびMy Rotaryアカウント登録率

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2020年 7月1日	9月末 会員数	うち女性	増減
第1分區(9クラブ)	／	－	387	385	37	－2
新発田	3	24.2%	95	94	0	－1
村上	4	17.5%	40	40	10	0
水原	3	22.6%	30	31	1	1
中条	4	90.7%	43	42	3	－1
新発田城南	4	17.1%	44	41	4	－3
豊栄	3	17.4%	23	23	3	0
新発田中央	4	4.3%	45	47	4	2
中条胎内	4	56.8%	36	36	6	0
村上岩船	3	22.6%	31	31	6	0
第2分區(9クラブ)	／	－	435	450	28	15
新潟	4	20.2%	88	94	2	6
新潟東	4	14.3%	63	63	9	0
新潟南	5	33.3%	98	105	3	7
佐渡	3	100.0%	6	6	0	0
新潟西	4	52.6%	38	38	2	0
佐渡南	2	12.2%	40	41	5	1
新潟北	2	30.8%	39	39	0	0
新潟中央	4	42.9%	20	21	0	1
新潟万代	3	51.2%	43	43	7	0
第3分區(6クラブ)	／	－	103	102	4	－1
新津	4	11.8%	17	17	0	0
村松	4	66.7%	12	12	0	0
五泉	2	0.0%	12	12	1	0
白根	4	30.0%	30	30	1	0
新津中央	4	34.6%	26	25	2	－1
阿賀野川ライン	4	0.0%	6	6	0	0
第4分區(11クラブ)	／	－	372	371	28	－1
三条	4	10.0%	60	60	0	0
燕	4	5.6%	36	36	3	0
加茂	4	10.0%	30	30	5	0
三条南	3	13.3%	45	45	2	0
分水	4	80.0%	30	30	4	0
見附	4	9.1%	22	22	1	0
吉田	3	7.7%	26	26	3	0
三条北	4	0.0%	60	59	3	－1
巻	4	0.0%	23	23	2	0
田上あじさい	4	14.3%	7	7	1	0
三条東	4	6.1%	33	33	4	0

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2020年 7月1日	9月末 会員数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)	／	－	306	307	27	1
長岡	3	88.0%	49	48	4	－1
柏崎	0	2.4%	42	42	0	0
長岡東	3	25.4%	57	59	3	2
柏崎東	2	17.8%	46	45	3	－1
栃尾	4	12.5%	24	24	0	0
長岡西	2	19.2%	52	51	5	－1
柏崎中央	1	23.7%	36	38	12	2
第6分區(6クラブ)	／	－	130	135	12	5
十日町	3	20.7%	29	31	3	2
小千谷	3	10.0%	27	30	3	3
雪国魚沼	5	16.7%	24	24	3	0
十日町北	3	4.8%	21	21	2	0
津南	3	17.4%	23	23	1	0
越後魚沼	4	16.7%	6	6	0	0
第7分區(8クラブ)	／	－	338	335	23	－3
高田	4	30.3%	76	75	5	－1
直江津	4	36.6%	71	70	6	－1
新井妙高	4	6.5%	32	32	1	0
糸魚川	4	90.2%	41	40	2	－1
高田東	3	69.4%	36	36	2	0
糸魚川中央	4	51.5%	33	33	0	0
頸北	4	18.2%	11	11	1	0
越後春日山	3	100.0%	38	38	6	0

クラブ数	56 クラブ
7月1日 会員数	2,071 人
9月末 会員数	2,085 人
女性会員数	159 人
純増減会員数	14 人
My Rotaryアカウント登録率	29.1 %

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター 2020年11月号 No.1

NEWS

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

今年もあと2か月、世界中を巻き込んだ新型コロナウイルス禍はどうやら年を跨ぐことになりそうです。今月はアメリカ大統領選挙や東京オリンピックの開催についての最終判断など、来年の世界情勢に大きな影響を与える出来事がある注目の月になります。

さて我が国では9月の首相交代で、国政に新しい動きが出てきましたが、その中で大きな話題となっているものにデジタル庁の新設があります。世界レベルから見て周回遅れと言われていたわが国のデジタル対応レベル。新型コロナへの対応で官民共に浮彫になってしまったこの話は、行政や企業だけのものではなく、私たち日本のロータリーの世界にも当てはまる話でした。

我が国では近年、RIの大きな変化を理解できないとか、とてもついていけないとかいう声があちこちで聞かれましたが、これも大きく遅れをとっているデジタル対応と同じレベルの話ではないでしょうか。

1905年に我がロータリーを立ち上げたポール・ハリスは、1927年ベルギー・オステンドでの国際大会でおこなった挨拶で「ロータリーの奉仕理念は哲学ですから、万古普遍のものであり、みだりに変えるべきではありません。いや、絶対に変えてはなりません。しかし奉仕の実践は、社会のニーズに従って大胆に変化させなければ、誰からも頼りにされないばかりか相手にされません。また奉仕の理念を持って生き残りを賭けるならば、社会の変化に沿ったクラブの管理運営方法を考えねばなりません。そして、ロータリーが奉仕の理念を貫こうとするならば、常にパイオニアとして新しい試みに挑戦し続けることが必要なのです。」と述べています。まさにわが国の諺「不易流行」そのものです。

今、このコロナ禍では奉仕の実践については、従来行っていた国を越えての奉仕活動や、多人数の行動参加がやり辛くなっているのは事実です。またこの経済状況の中での会員増強には厳しい逆風が吹いているとも言えます。しかしながら、より魅力ある自分たちのクラブ作りや、地区の管理運営方等所謂ソフト面については、思いっきり見直すいいチャンスとも言えるのではないのでしょうか。自分たちのクラブや地区の管理運営方が、社会の変化に沿ったものになっているかどうか？新しい会員を迎えることにふさわしいものになっているかどうか？

これからの時代は何をするにも否応なしにデジタルとデータ、すなわちD系の時代である一方、それを活用するにふさわしい体制、すなわちソフトがシッカリしていることが今まで以上大切になってくる時代です。

まだ暫くは続くであろうこのピンチの時を、我々ロータリーの奉仕の理念を貫くにふさわしい新しい体制作りを確立するチャンスに変えようではありませんか。

第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 神野 重行（名古屋名駅RC）



コーディネーター 2020年11月号 No.2

NEWS

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

第二地域ARPIC2期目の2600地区・佐久RCの原拓男です。皆様と共に勉強しながら公共イメージと認知度の向上に努力したいと思います。

さてコーディネーターニュース10月号で第1地域、寺嶋哲生ARPICが三地域合同オンラインセミナー報告を行いました。辰野克彦RI理事はセミナー冒頭の挨拶でアフリカでポリオが根絶されたがマスコミ報道でロータリーの果たしてきた功績が触れられなかった事を指摘され未だロータリーの公共イメージの向上が手法として不完全である事に対する反省の弁を述べたと紹介しました。合同セミナーでは公共放送であるNHKがニュースなどでロータリーを扱ってくれる事が重要だという意見がありました。幸い私はロータリーが縁でNHK関東甲信越番組審議会委員長を拝命しており辰野克彦RI理事、服部陽子第二地域RPICと連携してNHKの幹部に直接色々なアプローチを行いました。

先ずRIのブログ「ロータリーボイス」に掲載されている10月24日の世界ポリオデーに行われる世界や日本のイベント情報やロータリーが今まで如何にポリオ根絶に貢献して来たかの資料を提供しました。またポリオ根絶は1982年日本の2580地区（東京・沖縄）の麴町RCが創立15周年事業として会員の山田ツネさんと峰英二さんを中心に「南インド・ポリオ免疫プロジェクト」を行った事が始まりで国際ロータリーの最優先目標「ポリオ根絶」は日本のロータリークラブから始まった事などの資料も提供しました。私たちが提供した資料でNHKがロータリーをどの様に扱ってくれるかは判りませんが少なからず扱ってくれる事を期待しています。しかしこうしたマスコミを活用する事も重要ですが私たちロータリアンがロータリー財団や米山記念奨学会が長年、世界でどんな良い事をして来たかを学び身近な人たちに伝えて行くミニコミも非常に大事だと思っています。

辰野克彦RI理事はこの問題に対しRIに質問を行いました。返事の一つにロータリーによるポリオ根絶活動の話題を広げるにはクラブ、会員、RPICによる地元メディアへの働きかけに期待していますとあります。私たちに出来る事を行い公共イメージと認知度が向上すれば会員増強に繋がります以上社会に貢献できるでしょう。

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 原 拓男（佐久RC）



1. 米山月間はなぜ10月？

国際ロータリー理事会が指定したロータリーの特別月間に加え、日本独自の月間テーマとして、10月は米山月間となっています。なぜ、10月なのでしょう？

1975年8月、米山梅吉翁が逝去した4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですで行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。しかし1980年度になると、米山週間は4月から10月1日～7日へと変更されました。その理由はいくつかあります。一つには「ロータリー雑誌週間」が1978年度から4

月となり、重なってしまったこと。また、4月では各クラブへ送付される事業報告書などの資料数字が約1年前のものとなることや、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼することに無理がある、ストが多い、などの現実的な支障があったためです。そして何よりも、東京RCによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも10月だったこと、これが大きな理由とされています。

1983年からは週間制度が「月間」となり、10月が米山月間として定着し、今に至っています。

2. 米山月間の工夫

10月の米山月間には、ガバナーの方針のもと、各地区米山奨学委員会や各クラブにおいてさまざまな方法で推進がされています。事業理解の促進に最も効果的なプログラムは、なんと言っても米山奨学生の卓話です。しかし、今年は新型コロナウイルスのため、例会そのものが休会だったり、感染拡大防止の観点から奨学生のクラブへの卓話派遣を見合わせている地区もあります。

第2680地区（兵庫）では今年度、各クラブでの奨学生卓話を中止するかわりに、奨学生一人ひとりの自己紹介、日本で学びたいと思った理由、研究内容や将来の目標などのメッセージ動画を1枚のDVDにまとめ、米山月間に合わせ



◀ 第2680地区米山記念奨学委員会が制作したDVD

て地区内全クラブへ配布することを決定しました。

そのほか、当会が発行する恒例の『豆辞典』も毎年

少しずつ内容を変えており、説明用パワーポイントを当会HPで公開しています。さらに今年度の月間資料では、新しく発行した『米山学友の群像 学友会特集号』も各クラブへ送付しますので、ぜひ併せてご活用ください。

3. 寄付金速報 — 米山月間にご協力を！ —

9月までの寄付金は前年同期と比べて5.7%減（普通寄付金:5.2%減、特別寄付金:6.2%減）、約2,200万円の減少となりました。

7～9月の累計額を過去10年間の実績と比較すると、東日本大震災後にあたる2011～13年度の3年間を除き、今年度の寄付額は下回っています。新型コロナウイルスによる景気低迷が

どのくらいの期間影響するか見えない部分が大きいです。10月の米山月間にはぜひ、当米山記念奨学事業へのご理解とご支援をお願いいたします。戦後、日本のロータリアンが「国際親善と世界平和に寄与したい」との思いでつくり育てた奨学事業は、今、皆さんの手の中にあります。

4. ミャンマーの子どもたちに手洗い習慣を

ミャンマーでは9月以降、国内の新型コロナウイルス感染者が急増しています。同国政府はヤンゴン管区全域のセミロックダウン、流行地域からの移動制限など、感染拡大に歯止めをかけるべく対策を強化しています。

今年度、新型コロナウイルスへの対策プロジェクトを立ち上げているミャンマー米山学友会では、子どもたちに手洗い習慣を身に付けてほしいと、今年7月から8月にかけて僧院学校6



校（ヤンゴンおよびマンダレー地区で各3校）に手洗い場計45台を設置。僧院学



校とは、地元民のお布施によって運営され、孤児や貧困層の子どもたちが多く学ぶ学校です。僧侶や校長からは、「コロナの影響で学校を支えてくれる支援者が減っているなか、今必要不可欠な手洗い場を寄贈していただいた」と、感謝の言葉をいただいたそうです。このほか、会員が持ち寄ったお金で、ヤンゴンとマンダレーの各医療施設へ計380万チャット（約31万円）を寄付しました。ケイカイン ウィントウラ会長は「学友会の会員や有志の寄付者からのお金を、本当に必要な場所へ届けるのが会長のつとめだと思っています」と、笑顔で語ります。



5. 地区米山委員長対象 Web 相談会を開催

当会では年に2回、次年度の地区米山記念奨学委員長を対象とするセミナーを開催し、事務手続きや年間スケジュールを確認しながら、ケーススタディと推進のアイデアを共有する場を設けています。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9月25・28・29日の3日間にわたってZoomを使ったオンラインでの相談会を開催。コロナのために日本へ入国できないでいる奨学生への対応や、地区への特別補助費、8月から当会で施行された「個人情報の保護及び管理に関する

規程」、よねやま親善大使やホームカミング制度などについて事務局から説明したあと、質疑応答や参加している他地区との情報交換が行われました。

いずれの地区も、奨学生を含む懇親会・研修会の開催やその対策、年末年始からスタートする次年度奨学生の面接選考の方法などについて、頭を悩ませている様子が伺えました。当会事務局では今後3日間の質疑応答のまとめを作成して配布し、役立てていただく予定です。